

令和 7 年度第 1 回福井県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

日時：令和 7 年 11 月 4 日（火）13：30～15：30

場所：福井春山合同庁舎 1 階 第一共用会議室

議事

1、開会あいさつ 福井労働局諸井職業安定部長あいさつ

2、議題

（1）最近の雇用失業情勢について

令和 7 年 9 月分の雇用失業情勢について、福井労働局訓練課長より説明を行った。

（2）公的職業訓練の令和 6 年度及び令和 7 年度上半期の実施状況等について

求職者支援訓練の令和 6 年度の認定定員、実施定員、受講者数、開講コースの充足率、就職率などの実施状況及び令和 7 年度上半期の実施状況等について、労働局訓練課より説明を行った。また、公共職業訓練（施設内・委託）の令和 6 年度の実施定員、受講者数、開講コースの充足率、就職率などの実施状況及び令和 7 年度上半期の実施状況等について、福井県産業労働部労働政策課と（独）高齢・障害・求職者支援機構福井支部より、それぞれ説明を行った。別途、福井県産業労働部労働政策課より令和 6 年度の障害者委託訓練 PDCA 評価の報告及び令和 7 年度に実施する地域リスクリリング推進事業の一覧について説明を行った。

（3）第 1 回中央職業能力開発促進協議会の結果について

令和 7 年 9 月 30 日に開催された第 1 回中央職業能力開発促進協議会の結果について、労働局訓練課より説明を行った。

（4）ワーキンググループにおける効果検証について

令和 7 年度の公的職業訓練効果検証ワーキンググループでの効果検証結果及び訓練カリキュラムの改善促進策を労働局訓練課より説明した。

（5）令和 8 年度福井県地域職業訓練実施計画の策定に向けた検討について

第 1 回中央職業能力開発促進協議会での結果を踏まえ、令和 8 年度福井県地域職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）について下記のとおり事務局から説明・提案を行った。

●公共職業訓練

①令和 8 年度実施計画数（施設内訓練・委託訓練）・就職率目標

②地域の実情を踏まえた訓練コースの設定

●求職者支援訓練

①訓練実施規模・就職率目標

②基礎コースと実践コースの割合

③実践コースの重点を置くべき訓練分野の配分

④地域ニーズ枠の設定

⑤その他

3、質疑・意見交換について

各参加者からの主な発言は以下のとおりです。

構成員

中央協議会の資料 p 4 の中でデジタル分野の就職率は低いとされているが、デジタル人材の質・量とも不足しているとされている。就職率が低い人が人手不足なので推進するのは、ずれている気がします。福井県の 8 年度の計画（委託訓練）ではデジタル分野は 180 人から 135 人に減らすのですね。

事務局

こちらについては、デジタル分野のみ減らすのではなく全体の訓練数が 7 割に減ったのでデジタル分野の数も 7 割に減らすこととなります。

構成員

国の考える IT 人材と企業の考える IT 人材がずれているように思われますが、企業側の意見はいかがでしょうか。

構成員

生成 AI を使い業務をする方向に進んでいるので、IT 分野の訓練をした人材の必要性がなくなる感じがします。ただ生成 AI の回答が正しいかの判断を、最終的に判断できる人材が必要となる。今後 AI が普及し事務分野の人手が不要となる中で、求職希望者をどの様にどの分野に訓練していくかが課題となってくる。

構成員

人材育成、または就職をさせている側の意見はいかがでしょうか。

構成員

企業が求めている IT 人材はレベルの高い者である。一方で職業訓練を経て就職を目指す方一定の水準は達しているが開発等が出来ない。IT 人材は二層化していて基礎だけしか出来ない方は必要なくなっている。大学で実施しているリスキリング講座でディープラーニング講座を行ったところ、有料ですが企業側から多くの申込があった。企業側は開発出来る人材を求めているのではないかと思います。

構成員

IT 人材の育成はどのレベルをどこで育成するのかというのが課題となりますが、この協議会は公的職業訓練の範囲にとどまるので大学での教育とは違ってくるのかと思います。他に意見はございませんか。

構成員

商工会では、小規模事業者の支援と言う立場から、バックオフィス業務をきちんと出来るかつ、いろんなツールを活用できる人を求めていると思います。さらに高いスキルを求める企業も増えていると思いますが、小規模事業者は基本スキルがある方を求めていると思います。また、訓練修了生の就職後の定着に関するデータはありますでしょうか。

事務局

今は持ち合わせておりません。

構成員

企業側からすると長く勤務して欲しいので、協調性・自主性も求めているかと思います。

構成員

ただいまの点について、他にご意見はございませんか。

構成員

当協会は就業された方の技能検定等に取り組む組織で職業訓練には詳しくないのですが、中央の方針で IT 分野について応募率が高く就職率が低い。委託訓練の計画数と実施が乖離しているとありましたが、企業が求める IT 人材は専門を求める所と、基礎知識を求める企業と両方あると思います。そのニーズに対応出来る職業訓練になっているのかと疑問に思いました。

また 8 年度の計画は 7 割にするとありますが、中央協議会の資料 p 4 にある乖離している分を単に減らすだけの様に思えます。

構成員

もう一つ課題として、中央協議会の資料 p 4 にあるとおり医療介護分野は、応募者は低く就職率は高いと有りますがこの点につきましてご意見ありますか。

構成員

医療介護の分野では、今回求職者支援訓練の応募者が集まらず開講に至らないコースがございました。医療・介護分野は e ラーニングコース希望者が増え、通所訓練希望者が少なくなったと感じています。医療介護分野は、引き続き重点コースとして推奨して頂きたいと思います。

構成員

こちらでは以前、医療福祉専門コースを開講し、結構希望者がありましたが実習が伴うと減少する状況になりました。これには受講者の意欲低下に原因があると思います。受講者の意欲の低下をどう解決したら良いかが分からない状況で、訓練コース提案をしていくしかないのかと思っています。また求人に対して就職希望者はいますが、働く意欲に欠けるため人材不足になっている状況かと思っています。

構成員

令和 8 年度に向けての計画 p 27.p28 に関しまして、単に 7 割に減らすのはいかがかとの意見もありました。今回のものはあくまで方針案となっておりますので、労働局には次回協議会で今回のご意見等踏まえた上で正式な計画を決定していただきたいと思います。他に方針案についてご意見ある方はおられますか。

構成員

一つ確認ですが、現在と 5 年前とで福井県の人口が減少していますが、労働者人口も減少しているから訓練も減らすのか比較資料等がありますか？

構成員

資料は無いですが、労働力調査、国の県別調査で人口は減少し続けていて労働人口も減少している状況は分かっております。就業率は最近の調査が無く就業率は高めですが働く人口は減少傾向であり訓練希望者減少も仕方ないかと思っています。資料については次回提出させていただきます。

構成員

次の議題ですが、福井県及び機構福井支部施設内実施の公共職業訓練の令和 8 年度に向けて計画されていることがあれば説明をお願いします。

構成員

令和８年度の計画についてですが、今年度同様に「離職者向け」「学卒者向け」、そして「求職中の障害者の方向け」に施設内訓練および委託訓練を実施していく予定でございます。規模については、現在計画を作成中でございますが、令和８年度の計画方針案にもあったとおり、概ね昨年度と同程度で考えております。

委託訓練も含めた公共職業訓練全体の話となりますが、福井県としましては、県内全域で受講の機会を確保するために、各ハローワークの管内で年間を通して訓練が実施できるように産業技術専門学院の施設内訓練、委託訓練の開講時期の考慮をしていきたいと考えています。また求職者支援訓練も含めた切れ目のない訓練の提供ができるように調整をしていきたいと考えております。

構成員

機構の施設内訓練は、同程度の訓練を考えております。

その中で確定ではございませんが、機械系のコースについて４コースあり、分類をもう少し分かりやすくとのことご意見がありますので、一部コースの整理を行う予定です。

4、結論

事務局の令和８年度福井県地域職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）は了承され、各構成員からの意見等を参考に令和７年度福井県地域職業訓練実施計画（案）を事務局で策定し、令和７年２月に開催予定の第２回福井県地域職業能力開発促進協議会で諮ることとした。

5、閉会あいさつ

福井県産業労働部上藤労働政策課長あいさつ